八代ー水俣間まで広がる
地域公共交通問題



八代水俣線 路線バス対策は

こういった地域公共交通の問題は本町だけのものではありません。２市２町（八代市・水俣市・芦北町・津奈木町）にまたがる地域幹線系統である八代・水俣線の路線バスの利用は全体的に少なく、今後、人口減少・少子高齢化がさらに進行することを考えると、現在の路線バスを維持していくことは困難であるという意見もあります。

このため、平成24年度に熊本県では国の補助金を利用し、「八代水俣線等路線バス再編協議会」を設置しました。

この協議会では、現在の利用者への影響を最小限に抑えながら、運行・運営をどのように効率的に行っていくかを基本として、路線の再編を上図のように示しました。

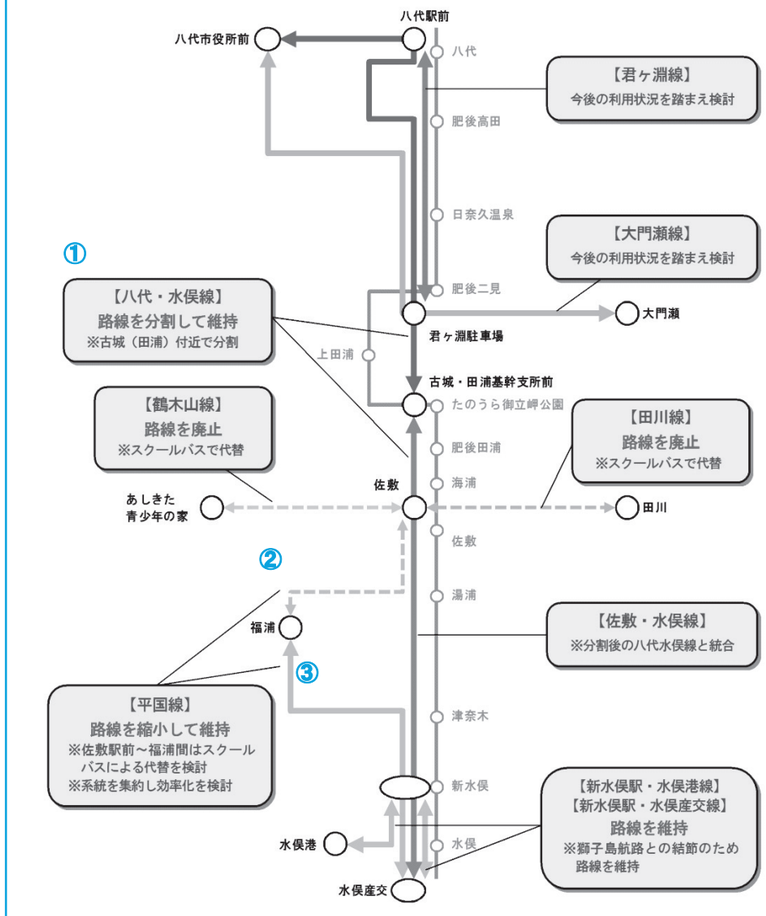
再編計画では主に次のような計画となっています。（津奈木町を通る路線分）

①国道３号線の八代・水俣線を田浦で分割して運行（平成26年４月実施済み）。

②海岸を通る平国線の佐敷駅前・福浦間は芦北スクールバスで代替。

③福浦・水俣間は路線縮小や効率化を検討する。

平成２４年度再編計画



見えてきた課題

地域公共交通取り組み事例

見えてきた公共交通の課題。同じような課題に直面している市町村は全国的に広がっています。各地域で、問題解決へ向かうため様々な取り組みが行われています。今回は、県内3市町村の取組事例を取り上げてみました。

菊池市

デマンドタクシー「あいのりタクシー」

菊池市では、 中山間地域に公共交通空白地域が発生していました。このため、 交通体系を見直し平成16年2～3月の短期間の試験運行により効果を把握した上で、 事前予約制乗合タクシー「あいのりタクシー」を本格運行しています。 利用者は路線バス運行時よりも増加し、 市の財政負担も3分の1程度まで削減されました。



※デマンドタクシー
事前の予約により自宅や指定の場所から目的地まで、 希望時間帯に乗降できる乗合タクシー

水俣市

コミュニティバス「みなくるバス」

水俣市では平成15年1月に1路線（赤バス）が運行を開始し、その後市民の意見を踏まえ路線を増やし、現在は4つの路線で運行しています。バス車両とバス停は路線ごとに赤・青・黄・オレンジの4つに色分けされており、行き先の分かりやすさを向上させるとともに市民の目をひくデザインとなっています。



芦北町

スクールバス「ふれあいツクールバス」

芦北町ではスクールバスによる「ふれあいツクールバス」を運行しています。

スクールバスを活用することで車両の有効活用、また住民の生活路線の確保と運賃の無料化による利用者の負担軽減を図っています。現在4路線を運行しており、うち2路線の第1便については混乗便となっており、子どもたちと同乗することで地域住民とのふれあいの場となっています。



今後の「展開」に向けて

県の再編計画や町の現状などから、見えてきた町独自の公共交通の課題。これらを総合的に解消することを目的として、４月に「津奈木町地域公共交通会議」を立ち上げました。

この会議では今後、住民ニーズの調査や、地域座談会の実施、路線再編方針や新路線の計画などこれからの津奈木町の公共交通はどのように進んで行くのか、町民の皆様と一緒になって考えていきます。

「住みたくなる町」であるためにはどうすればいいか、公共交通という視点でも少しずつ動き出しています。

地域公共交通に関する
アンケート調査を実施しています

津奈木町地域公共交通会議では8月下旬から公共交通に関する利用状況やニーズなどを把握するため、 無作為に抽出された600世帯に対してアンケート調査を行っています。 皆様のご協力をお願いします！